



京都経済百年の計・京都経済センター ～「銚の辻」から「オープンイノベーション」～

平成 31 年 3 月，四条室町 旧京都産業会館と市営 四条烏丸駐車場の敷地に，京都経済センターがグランドオープンしました。

同センターの整備は，京都商工会議所をはじめ，市内の約 50 もの経済団体・産業支援機関が結集する，「京都経済百年の計」として進められたもの。様々な人の交流と協働を通じて，新たなネットワークの創出や，価値の創造を実現し，「オープンイノベーション」の推進拠点となることが期待されています。

■ 重要性を増す「オープンイノベーション」

IT 技術が発展し，経済のグローバル化が進化したことにより，企業には，海外のライバルと競いながら，次々と新たな製品を生み出すことが求められるようになりました。

また，様々な技術開発が進展しており，何がデファクトスタンダード（使いやすさや価格から，市場に評価されて標準となったもの）になるか読みづらい状況にあることから，特定の技術開発に注力するだけでは競争に打ち勝つことは困難な時代となっています。

企業の人的資源・技術的資源が限られている中，すべきことが多くなり，かつ，迅速な市場への投入が必要であることから，組織内外での技術・アイデアの交流を図ることで革新をもたらすオープンイノベーションが，必須となっています。

この間，我が国においてもオープンイノベーションは活性化。しかし欧米と比べ，起業家・スタートアップ企業とのパートナーシップなど，まだまだ課題があるとされています。

■ 「銚の辻」から「オープンイノベーション」

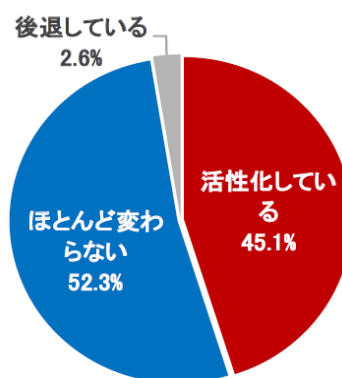
祇園祭の巡行に先立って山鉦が集まる四条室町の交差点は，別名「銚の辻」とも呼ばれています。

この歴史ある「銚の辻」で，オール京都での取組が始まっています。様々な知恵が融合し，新たな価値，ワクワクするような未来が生み出されようとしているのです。

【京都経済センター 8つの機能】

- ① 交流と協働の促進
- ② 戦略的産業振興施策の推進と情報発信
- ③ 中小企業の育成支援
- ④ 産学公連携の推進
- ⑤ スマートシティ・スマートコミュニティ（地域創生）の実現
- ⑥ 海外への販路開拓と海外からの投資促進
- ⑦ 繊維産業の振興
- ⑧ 産業人材育成支援

【我が国のオープンイノベーションの
取組は 10 年前と比較して活性化】

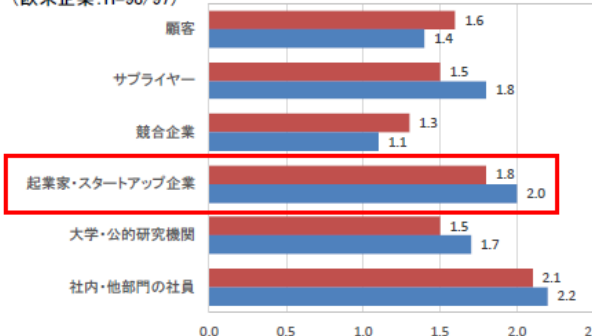


n=195

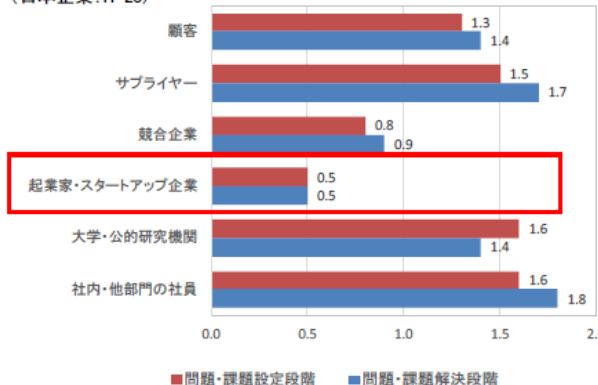
出典：国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

【オープンイノベーションにおけるパートナーシップに課題】

（欧米企業：n=98/97）



（日本企業：n=28）



出典：国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構